

ため一時5階に移転する予定。旭委員は来期継続を了承。

3. 100周年記念事業について

〔気象集誌〕 1982年の第1号を記念号とする。現在の委員に若干名を加えてそのための編集委員会を設ける。1982年から気象集誌のインデックスを新設する。

〔天気〕 1982年の第4号を記念号とする。160頁位を計画している。内容はレビュー、座談会、通史、総目録を企画している。「天気」の歴年カードは東大の木村委員が担当している。「天気」に経過報告をしていきたい。

〔理事長〕

- (1) 1982年秋に開催されることになった Regional Technical Conference on Tropical Meteorology を WMO と気象学会が共催で行うことを受諾した。
- (2) 事務局として財団等から寄付金を貰うことを検討したい。
- (3) 1982年5月ごろ Study Conference on Impact of

Ocean Process on Global Climate and Extended Range Forecasting がもし気象庁主催で開かれた場合には、そのとき出席された2～3名の学者を招待して地方支部で講演して貰う考えである。滞在費は学会が負担することになる。

- (4) 記念式典をどういう風にやるか考えていきたい。

3. その他

〔理事長〕

- (1) 「天気」関係としては、1985年の IUGG/IAMAP の気象分科会の総会を日本で開催する案があるが、日本で開催するためには1981年のハンブルグでの総会でその意志表示をしておかねばならない。
- (2) 猿橋学会員の当理事会に対する期限締切後の学術会議会員選挙推薦依頼の件につき討議された結果、一応本人から個人で立候補の手続きをしてもらい、学会推薦の件は次期理事会（8月25日）で討議することとした。

第21期第1回理事会議事録

日時 昭和55年7月18日（金）15.00～17.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保、小平、松本、竹内、内田、浅井、河村、増田、黒木、二宮、荒井、村山、当舎、田中
議長に岸保理事を選任の上議事に入る。

議題

1. 理事長指名

常任理事全員の強い要望と推薦により前理事長の岸保理事が理事長に指名された。

2. 常任理事分担について

地方理事の指名のこともあるので最終的には次の理事会で決定するが大筋では次のとおり了承された。

庶務（正）小平理事（副）黒木理事

会計（正）荒井理事

「天気」編集（正）内田理事（副）杉村理事、坂上理事

「気象集誌」編集（正）二宮理事（副）浅井理事

「気象研究ノート」編集（正）竹内理事（副）河村理事

講演企画（正）増田理事（副）村山理事

学会賞藤原賞（正）未定（副）地方理事

奨励金各賞（正）竹内理事（副）増田理事

南極（正）田中理事（副）杉村理事

長期計画 岸保理事、松本理事、地方理事（正）未定

教育と普及（正）河村理事（副）黒木理事、地方理事（関西）

学術会議（正）増田理事

学術用語（正）村山理事（副）小平理事

3. その他

- (1) 次期常任理事会8月25日（月）10時に開催することを申合せらる。

(2) 理事会議題

(イ) 学会運営について

(ロ) 評議員の選出について

(ハ) 100周年記念事業準備委員会

承認事項 高山正ほか9名の新入会員を承認。